

医療施設向けに簡易な I o T N K E 情報連絡端末を設備管理に活用

工場自
動化機器
や電子ネ
ットワー
ク機器メ
ーカ―の
N K E
(社長 〃
中村道一
氏、本社
・京都市
長岡京市
馬場岡所
27)は、
既存設備
に後付け
して簡単

に I o T (モノのインタ
ーネット) を構築できる
簡易情報連絡端末「れん
ら君」シリーズを商品展
開している。同端末は各
種センサーと接続するこ
とで、ビル・工場内の設
備稼働状況や環境変化を
モニター画面にグラフ表
示させることや、あらか
じめ設定した上限・加減
値を超えた場合に自動で
メール通知することが可
能。設定はパソコンと

「れんら君」を LAN ケ
ーブルで接続して行う
が、無線 LAN 規格「W
i-Fi」の環境が整っ
ていれば、スマートフォ
ンやタブレット端末から
でも設定できる。同端末
の活用現場例として、N
K E は医療現場向けの提
案を実施している。

例えば、出力付きアナ
ログタイプの「れんら
君」と温度センサー、湿
度センサー、電流センサ
ーなどの各種センサーを
組み合わせ使用するこ
とで、病室内の温湿度管
理、医療器具の保管温度
の管理、冷蔵庫内の温度
管理、医療機器の電流監
視などをさまざまな現場管
理を I o T 化できる。医
療現場で働く職員の多忙
な業務の効率アップを図
ることが可能になる。

「れんら君」を使用し
て医療施設の冷蔵庫の温
度管理を行う事例では
「れんら君」と温度セン
サーを組み合わせて設置
すると「れんら君」のク
ラフ化ツールを用いて現
場に出向かずに庫内温度
の状態を可視化できる。
庫内温度が急激に変化し
た場合には、メール自動
送信機能や信号出力機能
を用いて看護師や施設管
理者にメール通知や警報
を作動させて知らせるこ
とができる。